

⑥湧水（浸出水）の状況

海岸部の浸出水の調査結果の概要は図-6.6.1(2)に示した。浸出水調査では、カラ岳前面と通路川の間にある北側の海浜に面した琉球石灰岩の下部から浸出するものがみられ、浸出水量は約970~1,700L/分であった。この水は陸側に採石場の水たまりがあり、そこから浸透した水が出ているものと考えられる（図-6.6.1(3)）。他の地点では、図-6.6.1(4)で示したように海浜の砂浜を掘った場合に浸出水が確認され、事業実施区域の北側の海岸部では約1~10L/分及び轟川河口より南側では1~1.2L/分の浸出水が確認された。

降雨時は、平常時に比べいずれの地点でも浸出量が増加する傾向にあった。これらのことから、地下水が海浜域から常に浸出していることが推察された。